

# いさーち

日立市教育研究所報 275号

平成28年11月28日発行

〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

日立市教育研究所長 勝間田 忠彦

## 「不登校に関する研修会」を行いました



11月19日（土）に、半田 一郎先生（茨城県カウンセリングアドバイザー）を講師に招き、「学校の欠席が多い子どもをサポートして成長を促す関わり方」というテーマで研修会を行いました。先生からは事例をもとにしながら、不登校支援をどう考えるか、子どもの成長を促す関わり方のコツについて講話をいただきました。

講話後、参加希望者によるミーティングを行いました。不登校問題に直面している参加者からは、現在の悩みやこれまでの対応、今後の支援の在り方などについて、次々と質問が出されました。半田先生は、現在の子どもや支援者の良い行動を確認しながら、これからの支援の方向性について具体的に助言してくださいました。先の見えない不安や焦りを抱えている参加者にとって、目の前にいる子どもの対応や支援の方法を考える貴重な時間となりました。

### 【講話の内容】

#### ○不登校支援をどう考えるか

- (1) 不登校をどう捉えるか
- (2) 不登校支援の目標は？

自律・自立…放っておいても自分から学校へ来るようになること

弱い働きかけをして、自分から動くのを短いスパンで待つ

#### ○子どもの成長を促す関わり方のコツ

- (1) よい循環を促す 悪い行動をなくそうとすると悪循環が生じがち  
わずかなよい行動が出てきたら、肯定的に反応する
- (2) 感情を言葉で表現できるように 「どんな気持ちだったか教えてくれる？」
- (3) 肯定文で関わる  
×「学校に行かないと、高校行けないよ。」  
→肯定文にするにはどう言い換えるか？
- (4) 登校を指示するのではなく、心が動くような働きかけをする



## 【参加者の感想】

### 【保護者・市民】

- ・家でできること、普段の生活の中に取り入れてやってみようと思う。ミーティングでもアドバイスを頂けて研修会に参加できて良かった。
- ・今後の関わり方をどうしていけば良いかよく分かった。今まで「否定文＋否定文」で声掛けしてしまっていたので、即変えていこうと思う。「待つ」そして「肯定的な反応」をしていこうと思う。
- ・子どもの成長を促す関わり方のコツについて早速やってみようと思う。感情を言葉に出させるように子どもに働きかけてみたいと思った。



### 【教育相談員】

- ・「肯定文＋肯定文」や「待つ」ことの本当の待ち方がよくわかった。これから使ってみたい。

### 【教員】

- ・よい循環や認知行動療法、肯定文＋肯定文など、今すぐ実践できる考え方に目が覚めたような感じがした。
- ・よい行動を肯定的に伝えるとき、「えらい」「すごい」等より本人にとって何がいいのかも本人の立場に立って伝えるようにすること、「肯定文＋肯定文」に言い換えること、自分から動き出したことを積極的に見つけることなどを実践していきたい。
- ・不登校の子への関わり方のとらえ方が大きく変わった。自校に戻ったら校内研修の中で伝達していきたい。

## 学校訪問教育相談員をご活用ください

11月21日（月）には、同じく半田 一郎先生をお招きして、学校訪問教育相談員・こども発達相談センター教育相談員対象の研修会を行いました。

「学校を欠席しがちな子どもへの支援のコツ」というテーマで、事例をもとに演習を交えながら相談室でできる支援について半田先生からお話をいただき、一緒に考えました。

学校訪問教育相談員は中学校を中心に、各学校に週1日～週4日お伺いしています。学校の児童生徒、保護者、教職員ならどなたでも相談できますので、お子さんの支援に迷いを感じたとき、一人で解決しにくいと感じたとき、どうぞ教育相談員をご活用ください。



## 今後も研修会を数多く企画しています

12月、1月開催予定の研修会です。詳しくはホームページ等をご覧ください。

☆は一般の方、保護者の方も参加可能な研修会です。

参加申込は日立市教育研究所（電話 0294-23-9172 ）へ。

日時	会場	研修会名と主な内容
☆12月17日（土） 9:40～11:40	ホリゾンかみね	発達障害の理解と支援のための研修会 「発達に課題がある子の理解と対応～ペアレント・トレーニングに学ぶ～」
1月 6日（金） 13:30～16:30	ホリゾンかみね	不登校解消支援研修会 教職員向けの研修会です。不登校の児童生徒を担当している先生向けに、温かな気持ちで子どもと接するコツについて学びます。冬休み中ですので、たくさんの先生の参加をお待ちしています。
☆ 2月18日（土） （予定）	未定	発達障害の理解と支援のための研修会② （講話のあと、保護者ミーティングも開催します）

## 不登校対策支援事業

# 「たかはら自然体験」を行いました

9月30日（金）、不登校対策支援事業として、たかはら自然体験を行いました。自然いっぱいのたかはら自然塾で、いつもと違う仲間と一緒に学校では体験できない活動をしてきました。

段ボールクラフト作りや飼われているヤギとの触れ合い、木を切る体験を通して、子どもたちは自然や人と触れあう心地よさを感じてきました。自分で作った作品や切った木をうれしそうに持ち帰る姿から、初めての体験でわくわくした気持ちが伝わってきました。



## 編集後記



11月というのに本格的な雪が降りました。暦の上だけではなくもう冬がやってきたようで、今年のうちになにかできるか考えてしまいます。教育研究所では今年度、学校を休みがちな子どもたちへの支援について、保護者として、教職員として何ができるか研修会を通して考えました。自分の感情を言葉で表現することが苦手なお子さん、自己決定が苦手なお子さんなどに私たち大人がどう関わるか。子どもの育ちに寄り添える支援者になりたいと思います。（村上）